

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別																																																																
スポーツ教育 Sport Education		全学科	1年次	前期																																																																
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員																																																																	
実技	1	必修	手島 史子・子安 崇夫・斉藤 雅記																																																																	
概要																																																																				
<p>現代社会は生涯を通じてスポーツに参加することが国民の教養の一つになっている。しかし、今日のスポーツ状況は様々に多様化しているし、国民のスポーツニーズも多様化している。</p> <p>そのような状況をふまえて山口短大では、以下の2つのコースを設定し、1年次にその中から1つを選ぶ選択性の授業を実施している。また、夏季野外活動（キャンプ）コースを選択すれば、日本キャンプ協会のキャンプ・インストラクターの資格が取得できる。なお、重複履修も可能である。</p>																																																																				
到達目標																																																																				
<p>(1) 自らの技量に応じて積極的にスポーツを楽しむことができる。</p> <p>(2) 生涯を通じてスポーツを楽しむことのできる基本的知識を修得する。</p> <p>(3) スポーツや野外活動を楽しむための基礎的な知識や技能を修得する。</p>																																																																				
授業内容とすすめ方																																																																				
<p>以下の2つのコースから選択する。</p> <p>(1) スポーツコーチングコース [バレーボール]</p> <p>スポーツの指導を行うために必要な内容・方法を、実技を行いながら習得する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション（スポーツ教育のねらい）</td> <td>9</td> <td>アタックを意識したゲーム</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>グループづくり</td> <td>10</td> <td>セッターの動きを軸にしたゲーム</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>バレーボールのルール及び基礎技能練習</td> <td>11</td> <td>攻撃リズムを意識したゲーム</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>レシーブ・トス・アタックの練習</td> <td>12</td> <td>コンビネーションの動き重視のゲーム</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>セッターとアタッカーの関係を重視した練習</td> <td>13</td> <td>スパイク率向上を意識したゲーム</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>アタックのタイミングを意識した練習</td> <td>14</td> <td>まとめ：リーグ戦①</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>試しのゲーム（リズムの確認）</td> <td>15</td> <td>まとめ：リーグ戦②（勝率に応じたゲームの展開）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ゲーム分析及びゲーム</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 夏季野外活動（キャンプ）コース</p> <p>将来、家族や知人等と自然に親しみながら野外活動を楽しむために必要な基礎的な知識、基礎的な技術を習得する。8月下旬に集中授業で実施する。</p> <p>夏季野外活動（キャンプ）コース</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション（野外活動のねらい）</td> <td>9</td> <td>野外炊飯の理論</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>グループ編集・係決め</td> <td>10</td> <td>オリエンテーリングの理論</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>携帯コンロの使い方</td> <td>11</td> <td>登山の理論と装備</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ダッチオーブンの使い方</td> <td>12</td> <td>登山の実践</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>キャンプの安全性についての理論</td> <td>13</td> <td>キャンドルサービスの理論</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>野外活動の基本及び山の歩き方</td> <td>14</td> <td>キャンドルサービスの実践</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>キャンプの歴史</td> <td>15</td> <td>撤収とまとめ</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>タープの設営</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					1	オリエンテーション（スポーツ教育のねらい）	9	アタックを意識したゲーム	2	グループづくり	10	セッターの動きを軸にしたゲーム	3	バレーボールのルール及び基礎技能練習	11	攻撃リズムを意識したゲーム	4	レシーブ・トス・アタックの練習	12	コンビネーションの動き重視のゲーム	5	セッターとアタッカーの関係を重視した練習	13	スパイク率向上を意識したゲーム	6	アタックのタイミングを意識した練習	14	まとめ：リーグ戦①	7	試しのゲーム（リズムの確認）	15	まとめ：リーグ戦②（勝率に応じたゲームの展開）	8	ゲーム分析及びゲーム			1	オリエンテーション（野外活動のねらい）	9	野外炊飯の理論	2	グループ編集・係決め	10	オリエンテーリングの理論	3	携帯コンロの使い方	11	登山の理論と装備	4	ダッチオーブンの使い方	12	登山の実践	5	キャンプの安全性についての理論	13	キャンドルサービスの理論	6	野外活動の基本及び山の歩き方	14	キャンドルサービスの実践	7	キャンプの歴史	15	撤収とまとめ	8	タープの設営		
1	オリエンテーション（スポーツ教育のねらい）	9	アタックを意識したゲーム																																																																	
2	グループづくり	10	セッターの動きを軸にしたゲーム																																																																	
3	バレーボールのルール及び基礎技能練習	11	攻撃リズムを意識したゲーム																																																																	
4	レシーブ・トス・アタックの練習	12	コンビネーションの動き重視のゲーム																																																																	
5	セッターとアタッカーの関係を重視した練習	13	スパイク率向上を意識したゲーム																																																																	
6	アタックのタイミングを意識した練習	14	まとめ：リーグ戦①																																																																	
7	試しのゲーム（リズムの確認）	15	まとめ：リーグ戦②（勝率に応じたゲームの展開）																																																																	
8	ゲーム分析及びゲーム																																																																			
1	オリエンテーション（野外活動のねらい）	9	野外炊飯の理論																																																																	
2	グループ編集・係決め	10	オリエンテーリングの理論																																																																	
3	携帯コンロの使い方	11	登山の理論と装備																																																																	
4	ダッチオーブンの使い方	12	登山の実践																																																																	
5	キャンプの安全性についての理論	13	キャンドルサービスの理論																																																																	
6	野外活動の基本及び山の歩き方	14	キャンドルサービスの実践																																																																	
7	キャンプの歴史	15	撤収とまとめ																																																																	
8	タープの設営																																																																			
テキストおよび 参考文献	<p>夏季野外活動（キャンプ）コース：日本キャンプ協会「キャンプ指導者入門」</p> <p>スポーツコーチングコース：基本的に各授業開始時にプリントを配布する。</p>																																																																			
メッセージ な	<p>自分たち自らスポーツを楽しむために必要な言動を意識的に身につけるように努力してほしい。</p>																																																																			

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 自らの技量に応じて積極的にスポーツを楽しむことができる。	自らの技量に応じてスポーツを楽しむことができる。	自らの技量に応じてある程度スポーツを楽しむことができる。	自らの技量に応じて最低限スポーツを楽しむことができる。	自らの技量に応じてスポーツを楽しむことができない。	授業への取り組み・ゲーム (関心・意欲表現力)	30%
(2) 生涯を通じてスポーツを楽しむことのできる基本的知識を修得する。	ほぼ完璧に修得している。	大きな間違いがなく修得している。	最低限のことは修得している。	修得していない。	授業への取り組み・レポート (知識・理解・思考力・表現力)	30%
(3) スポーツや野外活動を楽しむための基礎的な知識や技能を修得する。	ほぼ完璧に修得している。	大きな間違いがなく修得している。	最低限のことは修得している。	修得していない。	授業への取り組み・グループ活動・レポート (知識・理解・判断力・思考力・表現力)	40%